

令和9年度
青森県立保健大学大学院
学生募集要項

【博士前期課程 第1期・第2期募集】

健康科学研究科健康科学専攻

保健・医療・福祉政策システム領域
対人ケアマネジメント領域
基礎研究・実用技術領域
CNS（専門看護師）コース



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

【目 次】

本研究科の特徴.....	1
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）.....	1
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）.....	2
はじめに ▶出願準備から合格までの流れ.....	3
1 募集人員.....	4
2 取得できる学位.....	4
3 修業年限.....	4
4 選抜日程・選抜区分.....	4
5 出願資格.....	5
6 事前相談について.....	6
7 社会人の修学に関する配慮.....	6
8 出願資格認定.....	7
9 出願書類.....	8
10 出願手続等.....	9
11 選抜方法.....	10
12 選抜試験の日時・試験会場等.....	13
13 合格発表.....	14
14 入学手続等.....	15
15 研究領域及び指導教員連絡先.....	16
16 成績の開示について.....	19
17 これまでの修士論文・課題研究論文抄録について.....	19
18 大学院・MPHプログラムに関するQ&A.....	20

本 研 究 科 の 特 徴

看護・理学療法・社会福祉・栄養など、多様な専門分野を背景に持つ学生が、人々の健康と福祉の向上に資する研究課題に取り組んでいます。幅広い専門分野の教員による講義・演習・研究指導を通じて、多角的な視点と高度な実践力・研究力を養います。

- <特徴①> 多職種連携による高度実践及び学際的研究を推進するため、3つの研究領域（「保健・医療・福祉政策システム領域」「対人ケアマネジメント領域」「基礎研究・実用技術領域」）を設定
- <特徴②> 自らの研究課題やキャリアパスに応じて、柔軟に科目を選択・履修できるカリキュラム
- <特徴③> 社会人学生や遠方の学生にも配慮した学修環境(オンラインによる授業・研究指導、土日・夜間開講、夏季期集中講義、長期履修制度)
- <特徴④> 地域に根差した高度実践家の養成に資するコース・プログラムを開設
 - ・専門看護師（CNSコース：がん看護、感染看護、老年看護）
 - ・公衆衛生学修士（MPHプログラム）
 - ・修士（社会福祉学：実践課題コース）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

青森県立保健大学の理念は、「公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育んできた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する。」ことです。

本学の理念を実現・実践し、研究能力及び高度な専門知識・技能を身につけ、社会で活躍できる人材を育成するため、以下のような学生を求めています。

- 1 健康科学に関して問題意識をもち、その深い理解と真理の探究に意欲をもつ人
- 2 保健、医療及び福祉の諸課題を科学的・理論的に研究するための基礎的な能力をもつ人
- 3 保健、医療及び福祉分野のリーダーや教育者として、社会に貢献しようとする意欲をもつ人

アドミッション・ポリシーに掲げる高い能力と資質を備え、かつ多様な学生を選抜するために、学内推薦選抜、一般選抜、外国人留学生選抜及びCNSコース選抜を実施します。入学者選抜試験では、総合的学力及び意欲、探究心等を多面的かつ総合的に評価するために、学内推薦選抜では面接試験を、その他の選抜では筆記試験及び面接試験を実施します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大学院健康科学研究科博士前期課程では、本学の「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成する」という理念のもと、所定の教育課程において修了要件となる単位数を修得するとともに、特別研究又は課題研究の成果として提出された学位論文の審査及び最終試験に合格し、コースワークやリサーチワークを通して、次の知識・能力を身につけた者に修士の学位を授与します。

1 全学位プログラム共通

- (1) 学際的な学びと多様な価値観の理解を通じて、保健、医療及び福祉分野の研究・実践に必要な知識、倫理観を身につける。
- (2) 保健、医療及び福祉分野における問題や課題を科学的・論理的に考察し、専門的な研究・実践に活用できる。また、得られた成果を国内外に発信できる。

2 学位プログラム別

○ 修士（健康科学）

健康科学に関する学際的な知識に基づき、実験的手法や調査を通じて得た知見を体系化し、分析する能力を習得する。さらに、保健、医療及び福祉分野において直面する課題の解決や、科学的根拠に基づく実践に寄与する能力を身につける。

○ 修士（看護学）

保健、医療及び福祉分野における看護実践の事象や課題について、知識を体系化して理論と関連づけながら分析し、質の高い看護実践能力を身につける。

「CNSコース」では上記に加え、次の知識・能力を身につけることを求めます。

- (1) 専門領域に精通した臨床判断に基づき、ケアとキュアを統合した高度な看護実践能力を身につける。
- (2) リーダーシップを発揮して多職種や組織と連携・協働し、専門領域の看護実践の変革を推進する能力を身につける。

○ 修士（社会福祉学）

生活者や地域社会が抱える多様なニーズを、ミクロ・メゾ・マクロの各視点から客観的かつ体系的に捉える能力を身につける。さらに、ソーシャルワークおよび社会福祉政策を理論的・実践的に探究し、保健・医療・司法・教育・行政など多分野と連携しながら社会的課題に取り組むスキルを習得する。

○ 修士（公衆衛生学）

公衆衛生におけるシステムの構造や構築プロセス、その現状と課題を包括的に理解する力を身につける。また、地域社会や国際的な健康課題の解決に貢献できるよう、科学的根拠に基づく実践や政策を検討し、創造的な企画を立案・提言する能力を培う。

はじめに ▶出願準備から合格までの流れ

- ① 志望する研究指導教員を検討する
 - ・16～18 ページを確認してください。
- ② 研究指導教員を決定し、事前相談を行う
 - ・事前相談方法は6 ページを参照してください。
- ③ 出願資格・選抜方法を確認する
 - ・5 ページを確認し、自分が該当する選抜区分・選抜方法を確認してください。
 - ※ 出願資格認定が必要な方のみ、事前に申請が必要です。
 - 対象者は7 ページを確認してください。
- ④ 出願書類を準備する
 - ・早めの準備を推奨します。出願書類の詳細については、8 ページに記載しています。
- ⑤ 入学検定料を納入する
- ⑥ 出願書類を提出する
- ⑦ 受験票を受け取る
- ⑧ 入学者選抜試験を受験する
- ⑨ 合格発表・入学手続きを行う

各期の日程

項目	第1期	第2期
出願資格認定申請期間 (対象者のみ)	令和8年8月17日(月) ～8月20日(木)	令和8年12月1日(火) ～12月4日(金)
入学検定料振込期間	令和8年9月17日(木) ～9月29日(火)	令和9年1月7日(木) ～1月19日(火)
出願期間	令和8年9月24日(木) ～9月29日(火)	令和9年1月14日(木) ～1月19日(火)
選抜試験	令和8年10月17日(土)	令和9年2月6日(土)
合格発表	令和8年10月23日(金)	令和9年2月15日(月)

1 募集人員

健康科学専攻 23 名

※ この募集人員には、学内推薦選抜（6 名程度）を含みます。

2 取得できる学位

- ・修士（健康科学）
- ・修士（看護学）
- ・修士（社会福祉学）
- ・修士（公衆衛生学）

（CNS（専門看護師）コースを修了した場合は、修士（看護学）を取得できます。）

3 修業年限

2 年

※ CNSコースを除き、長期履修制度を利用することで、修業年限を3年とすることも可能です。

4 選抜日程・選抜区分

選抜日程	選抜区分	試験日
第1期	一般選抜 外国人留学生選抜 CNSコース選抜	令和8年10月17日(土)
第2期	一般選抜 外国人留学生選抜 CNSコース選抜	令和9年2月6日(土)

※ 出願できる選抜区分はいずれか一つであり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

※ 第1期の選抜結果にかかわらず、第2期の募集を行います。

5 出願資格

(1) 一般選抜

「一般選抜」に出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- ① 学校教育法第 83 条の大学を卒業した者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者）
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者）
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（又は令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年 2 月文部省告示第 5 号）
- ⑧ 学校教育法第 83 条の大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学大学院において認められた者（令和 9 年 3 月 31 日までに 3 年以上在学見込み又は修了見込みの者を含む）
- ⑨ 大学を卒業した者以外の者で、短期大学及び高等専門学校の卒業生、専修学校専門課程の修了者等のうち、次のア～オのいずれかを満たし、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められた者（令和 9 年 3 月 31 日までに満 22 歳に達するものに限る）
 - ア 学会発表もしくは学術誌等での論文発表があること
 - イ 職務上の業績があること
 - ウ 研究生として本学又は他の教育研究機関に 1 年以上在籍し、成果を収めていること
 - エ 管理栄養士の資格を有すること、又は栄養士の資格を有し栄養士として 3 年以上の実務経験を有すること
 - オ 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公的又はそれに匹敵する機関の 6 ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程、認定看護師教育課程）などを修了していること
- ⑩ その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められた者
（注） 出願資格⑦～⑩により出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受ける必要があります（「8 出願資格認定」を参照してください）。

(2) 外国人留学生選抜

「外国人留学生選抜」に出願できる者は、次の 2 つの基準を満たすものとします。

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 一般選抜の出願資格を満たす者

(3) CNS コース選抜

「CNS コース選抜」に出願できる者は、次の 2 つの基準を満たすものとします。

- ① 看護師免許を有する者
- ② 一般選抜の出願資格を満たす者

6 事前相談について

(1) 研究指導教員との事前相談

研究指導教員とは、学位論文・課題研究論文の指導を受ける教員のことをいいます。

出願希望者は、研究指導教員を決めて、出願前（出願資格認定をする者については、出願資格認定審査申請前）に、必ず事前相談を行ってください。

【事前相談の進め方】

本学ホームページ及び大学院案内等を参照のうえ、希望する研究指導教員に、電話・メール等で直接連絡を取り、入学後の研究内容等について面談をします。連絡先は16～18ページを参照してください。

(2) 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談

身体等に障害を有する入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、以下の期限までに、本学教務学生課までメールで連絡し、相談してください。

(daigakuin_nyushi@ms.auhw.ac.jp)

【第1期】 令和8年8月7日(金)

【第2期】 令和8年11月20日(金)

7 社会人の修学に関する配慮

(1) オンラインによる遠隔授業や研究指導

教室とオンラインを併用した遠隔授業を積極的に取り入れています。

(2) 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

昼夜開講制の導入（大学院設置基準第14条）及び土・日、夏季集中講義により、社会人が働きながら学べる環境に配慮しています。

(3) 長期履修制度（CNSコースを除く）

職業を有している、あるいは介護・育児に従事している等の事情により標準修業年限（2年）を超えて計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する場合、教育研究上の必要があると認められれば、修業年限3年での履修が可能となります。

※ 上記措置の適用を希望する者は、入学志願票（A票）の「修業年限の選択」欄において、「2：長期履修（3年）」を選択してください。ただし、入学手続の際に改めて申請手続きが必要となります。

8 出願資格認定（該当者のみ提出してください）

一般選抜出願資格⑦⑧⑨⑩に該当する者（外国人留学生選抜又はCNSコース選抜において、同資格に該当する者を含む。）で、出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の認定審査を受ける必要があります。

(1) 審査の方法

出願資格の認定審査は、出願に先立って、提出書類の審査によって行います。

(2) 提出書類

次の書類を角形2号封筒に入れ、郵送（書留速達）又は直接持参により提出してください。封筒余白に「博士前期課程第〇期出願資格認定審査申請書類」（〇には1又は2を記入）と朱書きしてください。なお、提出書類は返還しません。

一般選抜出願資格⑦⑧⑨⑩に該当する者
（外国人留学生選抜又はCNSコース選抜において、同資格に該当する者を含む）

- 1) 出願資格認定審査申請書【D票】
- 2) 履歴書【B票】
- 3) 業績報告書【E票】
- 4) 成績証明書：最終学歴の学校所定の用紙により発行者が厳封したもの。
- 5) 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書：最終学歴の学校所定の用紙により発行者が厳封したもの。

※1 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

※2 大学指定の様式【D, B, E票】は本学ホームページからダウンロードできます。

(<https://www.uhw.ac.jp/daigakuin/exam/seikyuu.html>)

【提出先】 { 〒030-8505
青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1
青森県立保健大学事務局 教務学生課 }

(3) 申請期間等

① 申請期間

【第1期】 令和8年8月17日（月）から 令和8年8月20日（木）まで

【第2期】 令和8年12月1日（火）から 令和8年12月4日（金）まで

（最終日午後5時必着）

直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

② 出願資格認定審査結果の通知

出願資格認定審査結果については、

【第1期】 令和8年9月18日（金）まで

【第2期】 令和9年1月8日（金）まで

に本人あてに通知します。認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

9 出願書類

◎：必須 △：該当者のみ提出

No.	出願書類		摘 要
1	入学志願票【A票】	◎	
2	履歴書【B票】	◎	必要事項を漏れなく入力してください。 (原則としてパソコンで入力してください。)
3	研究計画書【C票】	◎	
4	受験票用写真 (電子データ) ※ こちらは郵送ではなく、電子メールで提出してください。	◎	本人確認が可能な写真(正面上半身・無帽・無背景で、出願前3か月以内に撮影したもの)の電子データを提出してください。 提出可能なファイル形式はJPEG、PNG又はPDFです。 画像の縦横比は縦長(縦横比の目安は3:4程度)としてください。 ファイル名は、「M_氏名」とし、下記アドレス宛てにメールで提出してください。 daigakuin_nyushi@ms.auhw.ac.jp
5	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	△	出願資格に該当する出身学校(1校)所定の用紙により発行者が厳封したもの。該当する学校が複数ある場合、任意の1校の証明書を提出してください。なお、本学健康科学部卒業見込者は、提出する必要はありません。
6	学士の学位授与(見込)証明書等	△	一般選抜出願資格②に該当する出願者は提出してください。 学位授与機構が発行する学士の学位授与(申請受理)証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請(予定)証明書を提出してください。
7	成績証明書	◎	出願資格に該当する出身学校(1校)所定の用紙により発行者が厳封したもの。 なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください。
8	免許証等の写し	△	CNSコース選抜に出願する者は、看護師免許の写しを提出してください。
9	入学検定料(30,000円)の振込書控の写し	◎	下記の本学指定口座に入学検定料を振込んだうえで、その振込書控の写し※を提出してください。なお、振込手数料は志願者の負担となります。 ※ ATMでの銀行振込の場合は利用明細書、インターネットバンキングの場合は振込完了画面を印刷したものでも可とします。 【第1期振込期間】 令和8年9月17日(木)~9月29日(火) 【第2期振込期間】 令和9年1月7日(木)~1月19日(火) 【入学検定料振込先】 銀行名 青森みちのく銀行(金融機関コード:0117) 支店名 浜館支店(支店番号:140) 口座種別 普通 口座番号 1097912 口座名義 コリツガ イク ケウガ アオホリケリツツカダ イカク 公立大学法人青森県立保健大学
10	戸籍抄本	△	証明書等が現姓と異なる場合は、提出してください。
11	住民票、又は在留カードの写し(両面)	△	日本国内に居住する外国籍の者は、「在留カード」の両面コピー又は市区町村長の発行する住民票(在留資格が記載されたもの)を提出してください。
12	本学在学中の授業料、生活維持費等の支払いを確実に負担できることを明らかにする書類	△	外国人留学生選抜に出願する者は、提出してください。 ・銀行残高証明書(受験者本人または経費支弁者(保護者など)の名義のもの)、収入証明書 など
13	日本語能力を明らかにすることができる書類	△	外国人留学生選抜に出願する者は、提出してください。 ・日本語能力試験(JLPT)の合格証明書、日本語教育機関の修了証明書 など

※ 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

※ 大学指定の様式【A票~C票】は本学ホームページからダウンロードできます。

(<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/axam/seikyuu.html>)

※ 出願資格認定を受けた者は、認定審査申請時に提出したNo.2, 5, 7の書類(履歴書【B票】、卒業(修了)証明書等及び成績証明書)の再提出は不要です。

10 出願手続等

(1) 出願期間

【第1期】 令和8年9月24日(木)から令和8年9月29日(火)まで

【第2期】 令和9年1月14日(木)から令和9年1月19日(火)まで

(最終日の午後5時必着)

出願書類を直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

(2) 出願方法

出願者は、所定の出願書類を角形2号封筒に入れ、郵送(書留速達)又は直接持参により提出してください。なお、封筒の余白に「博士前期課程第〇期募集出願書類」(〇には1又は2を記入)と朱書きしてください。

【提出先】

〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学事務局 教務学生課

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ② 出願書類のうち、本学所定の様式を使用するもの(例：入学志願票、履歴書など)は、原則としてパソコンで入力してください。なお、手書きで記入する場合は、黒色のボールペンまたはインクを使用し、楷書で正確に記入してください。
- ③ 出願受付後の出願事項の変更はできません。ただし、氏名・住所・電話番号などに変更があった場合は、速やかに本学教務学生課まで連絡してください。
- ④ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 振込済みの入学検定料は、次の場合を除き、返還できません。
 - ・入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
 - ・入学検定料を振り込んだが、出願書類が受理されなかった場合
 - ・誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合※ 上記に該当する場合は、速やかに本学教務学生課までお問い合わせください。
- ⑥ 受験票は、出願受付後に本人宛てに送付します。試験日の3日前までに届かない場合は、本学教務学生課まで連絡してください。
- ⑦ 出願書類に重大な虚偽記載があった場合、又は出願資格要件を満たしていないことが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

11 選抜方法

入学者の選抜は、選抜試験の結果及び出願書類等を総合して判定します。
各選抜区分における選抜試験の概要は、次のとおりです。

(1) 一般選抜

(総合得点 200 点)

選抜試験概要	試験時間	配点
筆記試験	90 分	50 点
英語 大学院入学後に、専門書や論文等を読むために必要となる英語力を問う問題であり、解答に要する時間は 40 分程度を想定しています（辞書の持ち込み可）。 英文（500 語程度）を読み、3～5 問程度の英文読解や要約を中心とした設問に解答します。		
専門科目（共通問題） 研究の遂行、論文の作成に必要と考えられる基本的な知識を問う問題であり、解答に要する時間は 20 分程度を想定しています。 分野を問わず必要となる量的データの処理（簡単な計算を含む）や統計学の基礎について、基本的には多肢選択、空欄補充、記述（図示を含む）のいずれかにより解答します。		
専門科目（選択問題） 与えられた課題について、自分の意見を論述する問題であり、解答に要する時間は 30 分程度を想定しています。各領域から 1 問ずつ、計 3 問のうち 1 問を選択し解答します。ただし、出願する領域によって選択を制限するものではありません。		30 点
面接（個人面接） 履歴書及び研究計画書を参考とし、研究に対する熱意や研究遂行に必要な知識、思考力、表現力、主体性及び協調性について、総合的に評価します。	20 分	100 点

(2) 外国人留学生選抜

(総合得点 200 点)

選抜試験概要	試験時間	配点
筆記試験 総合問題 出題は英語で行い、解答は日本語か英語のいずれかにより行います。以下①～③の内容を出題し、解答に要する時間は 90 分です。 ①英文（500 語程度）を読み、3～5 問程度の英文読解や要約を中心とした問題 ②研究の遂行、論文の作成に必要と考えられる基本的な知識を問う問題 ③与えられた課題について、自分の意見を論述する問題	90 分	100 点
面接（個人面接） 履歴書及び研究計画書を参考とし、研究に対する熱意や研究遂行に必要な知識、思考力、表現力、主体性及び協調性について、総合的に評価します。	30 分	100 点

(3) CNS コース選抜

(総合得点 200 点)

試験概要	試験時間	配点
筆記試験 専門科目 看護現場における諸課題について論理的に分析し、自分の意見を論述する問題であり、解答に要する時間は 60 分です。	60 分	100 点
面接（個人面接） 専門看護師の役割理解、地域・社会への貢献意欲、看護実践力、多職種との協働に必要な協調性に加え、課題探究力や倫理的態度などを含め、総合的に評価します。	30 分	100 点

※ 第 1 期募集及び第 2 期募集を通じ、試験問題の難易度は、ほぼ同等となるように設定しています。

【参考 入学者選抜試験（筆記試験）の出典について】

※試験問題は公表していません。

1 博士前期課程

(1) 一般選抜

英語

年 度	出典（出題に引用した文献）
令和8年度	BBC News. “The flood warnings that save lives” https://www.bbc.com/future/article/025806-the-flood-warnings-that-save-lives BBC News. “Why more women get cancer in India - but more men die.” https://www.bbc.com/news/articles/c04q9v49vndgo
令和7年度	Smitha Mundasad. “More than a billion people obese worldwide, research suggests.” BBC News, 1 March 2024, https://bbc.com/news/health-68436642 George Sandeman. “What counts as junk food in upcoming UK advert ban.” BBC News, 14 September 2024, https://www.bbc.com/news/articles/cp3d33153r9o
令和6年度	Annabel Rackham. “Fitness: Fewer than 5,000 steps a day enough to boost health-study.” BBC News, 9 August 2023, https://www.bbc.com/news/health-66440424 Grace Huckins. “On the Basis of Testosterone.” Scientific American, 2021, Vol.324, pp.51-55

専門科目（共通問題）

年 度	出典（出題に引用した文献）
令和8年度	引用出典なし
令和7年度	引用出典なし
令和6年度	引用出典なし

専門科目（選択問題）

年 度	出典（出題に引用した文献）
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト「豊かなコミュニケーションと将来への目標意識が確かな学力を生み出す1！」 ➢ エイミー・C・エドモンドソン(著),野津智子(訳),『恐れのない組織』,英治出版,2021年,p.65-67 ➢ レジデントノート「こんなにも面白い医学の世界 第121回 モデルや女優はなぜ大量に水を飲むのか？」 https://www.yodosha.co.jp/rnote/trivia_9784758127226.html ➢ 福永與壺,山澤稚子「ビジネスパーソンにおける潜在的睡眠時無呼吸症候群に関する調査研究」『大和証券ヘルス財団研究業績集』37号(2014年),p.49-50 ➢ 鈴木竜太『自立する組織人』生産性出版,2007年,p.125-126 ➢ 野口憲太,土肥修一「マイクロRNA ノーベル賞」朝日新聞,2024年10月8日,p.26
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 厚生労働省,『「外国人雇用状況」の届出状況まとめ【本文】(令和5年10月末時点)』,『令和4年版 厚生労働白書』 ➢ 中山和弘・岩本貴編,『患者中心の意思決定支援』,中央法規出版,2012年,p.165-166 ➢ 間和彦著,『ロコモティブシンドローム予防のためのオリーブ由来機能性食品素材の開発と実用化』,日本食品安全協会誌,Vol.18,2023年,p.237-239 ➢ 厚生労働省,『令和4年国民健康・栄養調査結果の概況』 ➢ 上野千鶴子,『情報生産者になる』,筑摩書房,2018年,p.14-16 ➢ 海野けい子,『緑茶のストレス軽減および抗うつ作用』,日本農芸化学会,化学と生物,Vol.59, No.1, 2021, p.32

年 度	出典（出題に引用した文献）
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 厚生労働省, 『2022（令和 4）年国民生活基礎調査の概況』, 2023 年, p.14 ➢ 厚生労働省, 『令和 2 年版厚生労働白書（平成 30 年度・令和元年度厚生労働行政年次報告）－令和時代の社会保障と働き方を考える－』, 2020 年, p.9 ➢ 葛谷雅文著, 『高齢者における栄養管理 ギアチェンジの考え方』, 日本医事新報, 2016 年 4 月 2 日 4797 号, pp.42-43 ➢ 駒村康平著, 『主観的認知機能と認知機能の乖離がもたらす社会問題』, Aging & Health, 32(3), 2023 年, pp.21-24
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 内閣府, 『令和 2 年交通安全白書』, http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r02kou_haku/index_zenbun_pdf.html, p.23 ➢ 埼玉県, 『埼玉県ケアラー支援計画のためのヤングケアラー実態調査結果』, 令和 2 年 11 月 25 日, https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/187028/03_youngcarer.pdf ➢ 厚生労働省, 令和 2 年(2020)『患者調査の概況』, https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/20/index.html, https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ktanja/20/dl/jyuryouritu.pdf

(2) 外国人留学生選抜

年 度	出典（出題に引用した文献）
令和 8 年度	志願者なし
令和 7 年度	Smitha Mundasad. “More than a billion people obese worldwide, research suggests.” BBC News, 1 March 2024, https://bbc.com/news/health-68436642
令和 6 年度	Annabel Rackham. “Fitness: Fewer than 5,000 steps a day enough to boost health-study.” BBC News, 9 August 2023, https://www.bbc.com/news/health-66440424
	National Institute of Population and Social Security Research. “Regional Population Projections for Japan:2015-2045.” https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson18/t-page.asp

(3) CNS コース選抜

年 度	設問内容
令和 8 年度	<p>問 1 あなたが働く施設における様々な専門職との連携・協働の現状を分析し、その分析結果の概要と、そこから抽出された課題及び背景要因を記述しなさい。</p> <p>問 2 あなたが患者の意思決定を支援した際に、困難であった事例について、課題を分析しなさい。</p> <p>なお、事例の概要は完結に示し、状況及び看護場面は具体的に記述すること。</p>
令和 7 年度	志願者なし
令和 6 年度	<p>問 1 在院日数短縮に伴い、退院に向けた院内及び院外における多職種との連携・協働が重要となっている。そこで、あなたの施設におけるがん看護実践において、病棟・外来・地域との連携の現状を分析し、課題を書きなさい。</p> <p>問 2 今までのがん看護実践において、高齢がん患者の意思決定支援で困難であった事例を一つ挙げ、事例の概要を示した上で、どのような状況・看護場面であったのかを具体的に記述し、その事例の意思決定支援における実践上の課題を分析しなさい。</p>
令和 5 年度	志願者なし
令和 4 年度	<p>問 1 あなたの所属部署におけるがん看護領域に関する臨床教育の現状を分析し、課題を書きなさい。また、その課題に対するあなたの考えを述べなさい。</p> <p>問 2 あなたの今までのがん看護実践において、ケア内容の見直しが必要と考える事例を挙げ、状況及び看護場면을具体的に書きなさい。また、見直しが必要である理由を研究的側面に言及しながら分析しなさい。</p>

12 選抜試験の日時・試験会場等

(1) 選抜試験日時

【第1期】

年月日		選抜区分	一般選抜 / 外国人留学生選抜	CNSコース選抜
令和8年 10月17日 (土)	試験内容		時 間	時 間
	筆記試験		9:00~10:30	9:00~10:00
	面接		11:00~	10:30~

受付開始 午前8:00~ ※午前8:40までに指定された試験室に入室してください。

【第2期】

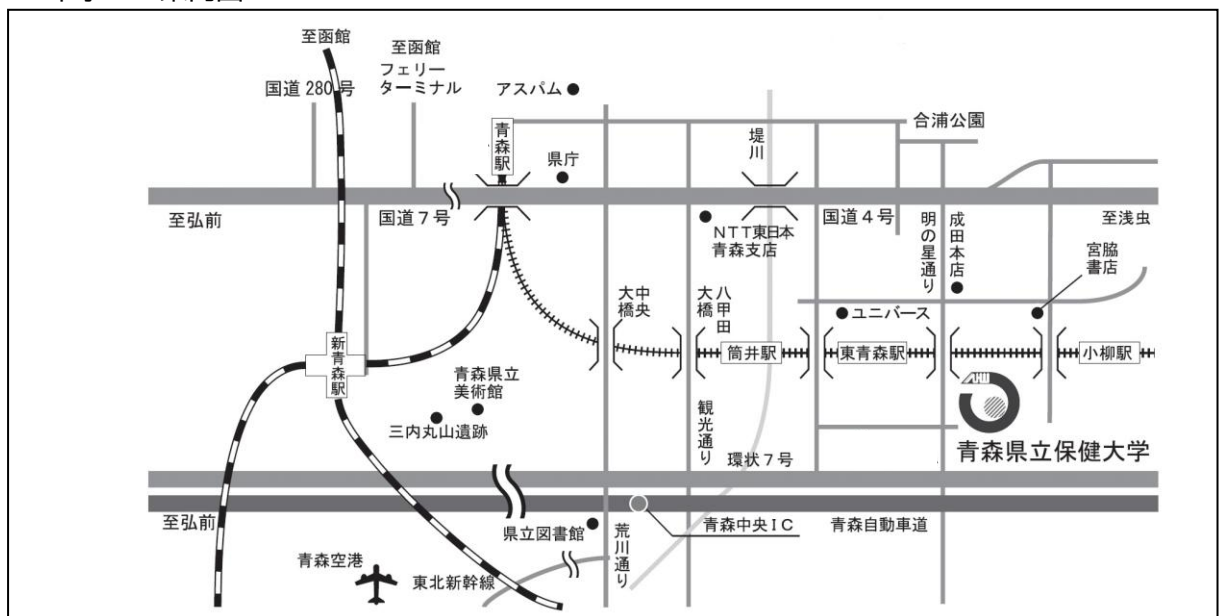
年月日		選抜区分	一般選抜 / 外国人留学生選抜	CNSコース選抜
令和9年 2月6日 (土)	試験内容		時 間	時 間
	筆記試験		9:00~10:30	9:00~10:00
	面接		11:00~	10:30~

受付開始 午前8:00~ ※午前8:40までに指定された試験室に入室してください。

(2) 試験会場

青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬 58-1）

<本学への案内図>



(3) 受験上の注意事項

- ① 受験者は、午前 8 時 40 分までに指定された試験室に入室し、着席してください。
なお、試験会場への入場は午前 8 時から可能です。
- ② 筆記試験開始後、20 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ③ 筆記試験又は面接試験のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選考の対象外とします。
なお、面接の開始予定時刻については、受験票とともに送付するスケジュール表で確認してください。
- ④ 受験票は常に携帯し、係員の指示があった場合は提示してください。
- ⑤ 試験当日、受験票を忘れた場合は、速やかに試験実施本部で仮受験票等の交付を受けてください。また、受験票は入学手続の際にも必要となりますので、大切に保管してください。
- ⑥ 試験時間中に使用できるものは、以下に限ります。
鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもにに限る）、英和辞書※（電子辞書は不可）。
※ 外国人受験者については、英和辞書の代わりに、母国語と英語の辞書の使用を認めます（電子辞書は不可）。
- ⑦ 携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、イヤホン等の電子機器類は、教室に入る前に必ず電源を切ってください。
- ⑧ 試験室内での受験者同士による物品の貸し借りは一切認めません。
- ⑨ 昼食が必要な場合は、各自で持参してください。試験室を昼食場所として利用できます。
- ⑩ 試験会場及びその周辺で、合格電報やレタックス等の受付を行っている者がいる場合がありますが、本学とは一切関係ありません。これらによって生じたトラブルについて、本学は責任を負いかねますので、十分に注意してください。
- ⑪ 試験会場の下見を希望する場合は、試験前日の午後 1 時以降に会場入口に掲示される配置図により、各自の試験室を確認してください。なお、試験会場内への立ち入りはできません。
- ⑫ その他必要な事項は、受験票送付時に併せて通知します。

13 合格発表

【第 1 期】 令和 8 年 10 月 23 日（金） 午前 10 時

【第 2 期】 令和 9 年 2 月 15 日（月） 午前 10 時

本学のホームページで合格者受験番号を発表します。

下記の URL 又は右記の QR コードより確認できます。

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/exam/goukakusya.html>

あわせて、合格者に合格通知を送付します。

なお、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。



14 入学手続等

(1) 入学手続

① 入学手続期間

【第1期】令和8年10月26日(月)～令和8年11月4日(水)(土・日・祝日を除く)
(時間：午前9時から午前11時45分及び午後1時から午後5時まで)

【第2期】令和9年2月16日(火)～令和9年2月26日(金)(土・日・祝日を除く)
(時間：午前9時から午前11時45分及び午後1時から午後5時まで)

② 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、本学ホームページに掲載します。

入学手続は、必要な書類を揃え、郵送(期間内必着)するか、または直接下記の場所に持参してください。

③ 場 所

青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学事務局 教務学生課 TEL 017-765-2007

(2) 初年度納付金 ※ 金額は令和8年度入学者の額であり、変更する場合があります。

① 入学料

入学手続の際は、下記の入学料を納付する必要があります。

ア 県内者 225,600円

イ 県内者以外の者 338,400円

※「県内者」とは、本人またはその配偶者、もしくは一親等の親族が、入学日の1年前から引き続き青森県内に住民登録している者をいいます。「県内者以外の者」とは、「県内者」に該当しないすべての者を指します。

※ 本学健康科学部から引き続き大学院に進学する者については、**入学料が免除**となります。
(免除手続の詳細及び必要書類は、対象者に合格通知とともに送付します。)

② 学外実習費(CNS(専門看護師)コースのみ)

CNSコースにおいては、学外実習に係る費用の一部を学外実習費として徴収します。入学手続の際に納付してください。

学外実習費 30,000円

③ 授業料

ア 金額 年額 535,800円 (長期履修制度を利用する場合は年額 401,850円)

イ 納付方法 入学後、前期(納付期限5月)、後期(納付期限10月)の2回に分けて納付します。

このほか、後援会費・同窓会費が必要となります。

(3) 追加合格

入学手続終了後に欠員が生じた場合等には、追加合格により補充することがあります。

(4) インターネット環境及びパソコン等の準備について

本学では、遠隔授業を積極的に取り入れているため、入学までにインターネット環境及びパソコン等の準備をお願いします。

15 研究領域及び指導教員連絡先

(1) 保健・医療・福祉政策システム領域 Health / Medical / Welfare Policy System Domain

教 員	研究室名	連絡先
特任教授 大西 基喜	公衆衛生研究室 Public Health	017-765-2085 m-ohnishi@ms.auhw.ac.jp
准教授 小山 幸	地域福祉実践研究室 Community Practice	017-765-2072 t_oyama@ms.auhw.ac.jp
准教授 権 順浩	生活保障研究室 Social Security	017-765-2092 s_kwon@ms.auhw.ac.jp
教 授 工藤 英明	介護保険政策・高齢者ケアシステム研究室 Long-Term Care Insurance Policy / Elderly Care System	017-765-2091 h_kudo@ms.auhw.ac.jp
教 授 児玉 寛子		017-765-2075 h_kodama@ms.auhw.ac.jp
教 授 古川 照美	地域保健研究室 Community Health	017-765-2053 t_kogawa@ms.auhw.ac.jp
教 授 齋藤 圭介	生活機能障害リハビリテーション学研究室 Health Promotion and Rehabilitation	017-765-2065 k_saito@ms.auhw.ac.jp
教 授 坂下 智恵	精神保健福祉研究室 Mental Health and Psychiatric Rehabilitation	017-765-2077 t_sakashita@ms.auhw.ac.jp
教 授 相馬 正之	高齢者健康支援研究室 Elderly Health Support	017-765-2083 m_soma@ms.auhw.ac.jp
教 授 高阪 悌雄	障害福祉政策研究室 Disability Welfare Policy	017-765-2074 y_takasaka@ms.auhw.ac.jp
教 授 高橋 謙造	国際母子保健学研究室 Global MNCH (Maternal, Newborn and Child Health)	017-765-2026 k_takahashi@ms.auhw.ac.jp
教 授 瀧澤 透	保健社会研究室 Health Sociology	017-765-2073 t_takizawa@ms.auhw.ac.jp
准教授 田中 尚樹	障害者支援システム研究室 Disability Support System	017-765-2089 n_tanaka@ms.auhw.ac.jp
教 授 千葉 敦子	産業保健研究室 Occupational Health	017-765-2052 atsuko_chiba@ms.auhw.ac.jp
教 授 松村 健太	疫学・精神栄養研究室 Epidemiology and Nutritional Psychiatry	017-765-2018 k_matsumura@ms.auhw.ac.jp
教 授 三好 美紀	国際地域栄養研究室 Global and Community Nutrition	017-765-4147 m_miyoshi@ms.auhw.ac.jp
教 授 村上 眞須美	看護システム研究室 Nursing Administration	017-765-2143 m_murakami@ms.auhw.ac.jp
教 授 安永 明智	健康行動科学研究室 Health and Behavioral Science	017-765-2024 a_yasunaga@ms.auhw.ac.jp
教 授 吉池 信男	健康推進・栄養政策研究室 Health Promotion and Nutrition Policy	017-765-2044 n_yoshiike@ms.auhw.ac.jp

(2) 対人ケアマネジメント領域 Interpersonal Care Management Domain

教 員	研究室名	連絡先
准教授 漆畑 俊哉	ヒューマンダイナミクス研究室 Human Dynamics	017-765-2090 t_urushihata@ms.auhw.ac.jp
准教授 蝦名 智子	助産学研究室 Midwifery	017-765-2033 s_ebina@ms.auhw.ac.jp
准教授 大野 智子	食育実践研究室 Food and Nutrition Education Practice	017-765-4176 t_ono@ms.auhw.ac.jp

教 員	研究室名	連絡先
准教授 小野 恵子	在宅看護学研究室 Home Health Care Nursing	017-765-2035 k_ono@ms.auhw.ac.jp
教 授 角濱 春美	看護基礎科学研究室 Theory Development in Nursing Practice	017-765-2036 h_kadohama@ms.auhw.ac.jp
教 授 川内 規会	対人コミュニケーション研究室 Interpersonal Communication	017-765-2422 k_kawauchi@ms.auhw.ac.jp
准教授 小池 祥太郎	基礎看護技術研究室 Innovation in Nursing Skills	017-765-2141 s_koike@ms.auhw.ac.jp
教 授 佐藤 愛	母性看護学研究室 Women's Health Nursing	017-765-2032 m_sato@ms.auhw.ac.jp
准教授 塩田 翔一	臨床心理神経科学研究室 Clinical Neuropsychology	017-765-2086 s_shiota@ms.auhw.ac.jp
教 授 鹿内 彩子	学校栄養研究室 Nutrition for School-aged Children	017-765-4169 s_shikanai@ms.auhw.ac.jp
教 授 篠原 博	スポーツリハビリテーション学研究室 Sports Rehabilitation	017-765-2081 h_shinohara@ms.auhw.ac.jp
教 授 清水 健史	精神看護学研究室 Psychiatric Nursing	017-765-2137 t_shimizu@ms.auhw.ac.jp
准教授 新改 法子	感染予防看護学研究室 Infection Prevention Nursing	017-765-2031 n_shinkai@ms.auhw.ac.jp
教 授 谷川 涼子	小児看護学研究室 Child Health Nursing	017-765-2046 r_tanikawa@ms.auhw.ac.jp
教 授 出貝 裕子	老年看護学研究室 Gerontological Nursing	017-765-2027 y_degai@ms.auhw.ac.jp
教 授 中江 秀幸	神経・高齢者リハビリテーション科学研究室 Neuro and Geriatric Rehabilitation Science	017-765-2064 h_nakae@ms.auhw.ac.jp
教 授 鳴井 ひろみ	がん看護学研究室 Cancer Nursing	017-765-2040 h_narui@ms.auhw.ac.jp
特別研究教授 山本 茂	アジアの栄養食文化研究室 Asian Nutrition and Food Culture	s_yamamoto@ms.auhw.ac.jp

(3) 基礎研究・実用技術領域 Basic Research and Practical Technology Domain

教 員	研究室名	連絡先
教 授 新井 陽	神経疾患研究室 Neurological Disorders	017-765-2069 a_arai@ms.auhw.ac.jp
准教授 井澤 弘美	食品開発・安全学研究室 Food Development and Safety	017-765-4096 h_izawa@ms.auhw.ac.jp
教 授 清水 亮	臨床栄養学研究室 Clinical Nutrition	017-765-2106 r_shimizu@ms.auhw.ac.jp
教 授 七島 直樹	食品機能化学研究室 Food Functional Chemistry	017-765-2105 n_nanashima@ms.auhw.ac.jp
准教授 乗鞍 敏夫	基礎栄養学研究室 Basic Nutrition	017-765-4081 t_norikura@ms.auhw.ac.jp
准教授 福士 勇人	リハビリテーション科学研究室 Rehabilitation Science	017-765-2068 i_fukushi3@ms.auhw.ac.jp
教 授 李 相潤	生体機能学研究室 Biological Functions	017-765-2071 leesu@ms.auhw.ac.jp
教 授 渡邊 龍憲	認知運動神経科学研究室 Cognitive Motor Neuroscience	017-765-2067 t_watanabe3@ms.auhw.ac.jp

(4) CNS (専門看護師) コース Certified Nurse Specialist Course

教 員	研究室名	連絡先
准教授 新改 法子	感染予防看護学研究室 Infection Prevention Nursing	017-765-2031 n_shinkai@ms.auhw.ac.jp
教 授 出貝 裕子	老年看護学研究室 Gerontological Nursing	017-765-2027 y_degai@ms.auhw.ac.jp
教 授 鳴井 ひろみ	がん看護学研究室 Cancer Nursing	017-765-2040 h_narui@ms.auhw.ac.jp

指導教員及び研究テーマ等の詳細については、
下記 URL 又は右記 QR コードから、本学ホームページをご参照ください。
<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/health/laboratory.html>



16 成績の開示について

(1) 開示する内容（入学者選抜試験個人成績）
選抜試験の得点

(2) 開示請求の受付期間
令和 8 年 10 月 26 日（月）～令和 8 年 11 月 26 日（木）
令和 9 年 2 月 17 日（水）～令和 9 年 3 月 17 日（水）

(3) 成績開示の方法
電子メールにより開示請求を受け付けるとともに、成績を開示します。開示方法は、入学者選抜試験個人成績（本人分）を電子データにより閲覧させる方法（閲覧用 URL の通知等）によります。
開示請求方法の詳細については、追って受験者に連絡します。

17 これまでの修士論文・課題研究論文抄録について

下記の URL 又は右の QR コードよりご覧ください。

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/m-ronbunsyouroku/2022-0130-1347-112.html>



18 大学院・MPHプログラムに関するQ&A

大学院全般に関するQ&A

Q1 働きながら大学院を修了することは可能でしょうか。また、青森市周辺に在住していなくても授業を受け、学位を取得することができますか。

A1 本学大学院では、社会人である方や遠方にお住まいの方が安心して学べるように次の①～③の環境を整備しております。

- ① オンラインを活用した遠隔授業や研究指導
- ② 授業の土日、夜間開講、夏季の集中開講
- ③ 標準修業年限（2年）を超えて3年での履修が可能な「長期履修制度」（CNSコース除く）

Q2 英語を学ぶことからしばらく遠ざかっていました。授業についていけるか不安です。

A2 大学院入学後は、研究を進めるにあたり、英語論文の検索や読解が欠かせないため、英文読解のポイントを学びながら基礎的英語力を身につけ、またディスカッションをしながら複数の英語の論文に触れて慣れ親しむための科目を開講しております。

（履修科目について）

Q3 修了までに必要な単位数を教えてください。

A3 本学ホームページに履修科目及び修了要件を掲載しておりますので、下記 URL 又は右記の QR コードからご確認ください。

<https://www.uhw.ac.jp/about/corp-info/files/ingaku.pdf>



MPHプログラム（公衆衛生学修士）に関するQ&A

（出願資格について）

Q4 MPHプログラムに進学するには医療関係の資格等の要件はありますか。

A4 出願資格については、5ページの「5 出願資格」に掲げるとおりであり、それ以外にMPHプログラム固有の出願資格は設けておりません。

（研究指導教員について）

Q5 「修士（公衆衛生学）」の学位取得のためには、特定の領域、研究室に所属する必要はありますか。

A5 16～18ページの「15 研究領域および指導教員連絡先」に掲げるうち、どの領域、研究室に所属した場合でも、修了要件を満たせば、「修士（公衆衛生学）」の学位が取得できます。

（入試について）

Q6 MPHプログラムの入学者選抜試験について教えてください。

A6 10ページ「11 選抜方法」に掲げるとおりです。
特別な区分及び定員は設けていません。

Q7 修了後の進路について教えてください。

A7 MPHプログラム修了後は、青森県内外において公衆衛生実務の指導的立場で貢献するエキスパートとして活躍することができます。

出 願 書 類 様 式

A票・・・入学志願票

B票・・・履歴書

C票・・・研究計画書

D票・・・出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査申請用）

E票・・・業績報告書（出願資格認定審査申請用）

上記様式は本学ホームページからダウンロードできます。

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/exam/seikyuu.html>

A 票

令和9年度
青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻（博士前期課程）
入学志願票

選抜日程	1：第1期	受験番号※	
選抜区分	1：一般選抜	修業年限の選択	1：標準修業年限（2年）
取得希望学位	1：修士（健康科学）	↑CNSコースは「標準修業年限(2年)」のみ選択可能	
(フリガナ)	アオモリ リンゴ	性別	2：女
志願者氏名	青森 りん子	生年月日（西暦）	2003/5/5
研究指導教員	<input checked="" type="checkbox"/> ←事前相談済みの方はチェックを入れてください		
氏名	津軽 太郎	研究領域	1：保健・医療・福祉政策 システム領域
住所	〒 030-1111		
	青森県青森市〇〇町11-10 コーポあずまし101		
メールアドレス	***_****@**.*.***	電話番号	080-1234-****
勤務先 (在職者 のみ)	企業 等名	青い森総合病院	
	所属	職名	理学療法士
	リハビリテーション科		
出願資格	フリガナ	ハッコウダダイガク	
	学校名 (出願資格に該当する出身学校)	八甲田大学	
	学校の種類等	2：公立	1：大学
	学部・学科等	保健医療学部・理学療法学科	
	学校所在地	青森県十和田市八甲田1-1	
	卒業等	2：卒業（修了）	
卒業等年月	2023年3月		

注1) ※欄は、入力しないでください。

注2) 各項目に必要な事項を入力またはプルダウンメニューから選択してください。

【以下のアンケートへの御回答もお願いします。】

「本学大学院を知ったきっかけ」として、当てはまるものにチェックを入れてください。（複数回答可）

<input checked="" type="checkbox"/>	1 ホームページや大学院案内等広報資料
<input checked="" type="checkbox"/>	2 本学大学院の院生又は修了生からの紹介
<input type="checkbox"/>	3 上司、同僚からの紹介
<input type="checkbox"/>	4 家族、友人からの紹介
<input type="checkbox"/>	5 その他（「その他」にチェックした場合は、その内容を下の枠に記入してください。）

履 歴 書

選抜日程	1：第1期		受験番号※	
住所	〒	030-1111		
	青森県青森市〇〇町11-10 コーポあずまし101			
(フリガナ)	アオモリ リンゴ		生年月日(西暦)	2003/5/5
志願者氏名	青森 りん子			
学 歴				
年	月	事 項		
2019	3	青森県立津軽北高等学校 卒業		
2019	4	青森県立八甲田大学 保健医療学部 理学療法学科 入学		
2023	3	青森県立八甲田大学 保健医療学部 理学療法学科 卒業		
職 歴				
年	月	事 項		
2023	4	青い森総合病院 リハビリテーション科 理学療法士		
		現在に至る		
免許・資格				
	種 別	理学療法士		
	取得年月	45017		
	番 号	*****		
賞 罰				

注1) ※欄は、入力しないでください。

注2) 学歴について

- ①日本での教育の場合は、高等学校卒業（または、それに相当するもの）以降について入力してください。
 ②外国での教育の場合は、初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）
 において在籍したすべての学校を入力してください。

注3) 職歴欄の勤務先・職種は具体的に入力してください。

研究計画書

令和9年度博士前期課程

選抜日程	第1期	受験番号	※
氏名	青森 りん子	研究指導教員名	津軽 太郎
希望する研究テーマ	高齢者における下肢筋力向上を目的とした段階的運動プログラムの効果と継続性に関する研究		
<p>1 この研究テーマを設定した問題意識 なぜ、この研究テーマを選んだか。</p> <p>2 研究計画 どのような方法で、どこまで明らかにしようとするのか。</p> <p>3 これまで実施した研究（卒業研究を含む）はどのような内容か。</p>			
<p>1 この研究テーマを設定した問題意識</p> <p>2 研究計画</p> <p>3 これまで実施した研究の内容</p>			

- 記入上の注意
1. ※欄は記入しないでください。
 2. 2ページに収まるように記入してください。
 3. A4用紙に**片面**で印刷して提出してください。

D 票

令和9年度
青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻
(博士前期課程)

出願資格認定審査申請書

選抜日程	1: 第1期	受験番号 ※	
青森県立保健大学学長 殿			
貴大学大学院健康科学研究科健康科学専攻(博士前期課程)入学者選抜試験に出願を希望します。			
ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。			
2026年8月18日			
フリガナ アオモリ リンゴ			
氏名 青森 りん子			
研究領域	1: 保健・医療・福祉政策 システム領域		
取得希望学位	1: 修士(健康科学)		
出願資格認定 選抜区分	1: 一般選抜		
住所	〒	030-1111	
	青森県青森市〇〇町11-10 コーポあずまし101		
電話番号	080-1234-****		
メールアドレス	***_****@**.*.***		
最終学歴	学校名	八甲田大学 保健医療学部・理学療法学科	
	卒業等	2: 卒業(修了)	
	卒業等年月	2023年3月	

注) ※欄は、入力しないでください。

E 票

令和9年度
青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻（博士前期課程）

業績報告書

（出願資格認定審査申請用）

選抜日程	1：第1期	受験番号 ※	
（フリガナ）	アオモリ リンゴ	生年月日（西暦）	2003/5/5
志願者氏名	青森 りん子		
研究領域	1：保健・医療・福祉政策 システム領域		
取得希望学位	1：修士（健康科学）		
出願資格認定 選抜区分	1：一般選抜		
業績 論文発表・学会 その他における 活動状況等	年 月	業 績	
	2022年11月	第28回 西北理学療法学会にて「高齢者における歩行速度の改善と日常生活自立度の関連性」に関する研究成果を発表	
	2023年6月	『地域リハビリテーション研究』第45巻第2号に「地域在住高齢者に対するバランス訓練の効果に関する一考察」が掲載	
	2024年3月	八甲田市主催の介護予防教室に講師として参加、「自宅でできる簡単運動指導」を実施	

注）※欄は、入力しないでください。

募集要項の出願資格⑦⑧⑨⑩に該当する者のうち、⑨ア、イ、ウのいずれかによる資格審査を申請する者は、業績のコピー（論文、報告書及び学会発表の抄録等）を提出してください。なお、それ以外の該当による資格審査を申請する者において、提出を妨げるものではありません。